

ARCHITECTURE COMPETITION'98

試される大地
北海道

平成10年度
高校生
建築デザイン
コンクール

課題「公園内の屋外トイレ」

ごあいさつ

21世紀を目前にひかえ、人々の価値観が物質的な豊かさより心の豊かさを重視する傾向にある中、公共建築物もゆとりやうるおいを備えた、誰にでも親しまれる施設とすることが求められています。

北海道では、道民に愛され親しまれる公共建築づくりを進めていくため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、道立施設の設計に当たり、次代を担う建築技術者となる道内工業高校の生徒からアイデアを募集するもので、3回目を迎えた今年度は、99点もの個性あふれる素晴らしい作品が寄せられました。中にはグループで制作した作品もあるため、参加者総数は118名にも及びました。

これは、建築を志す多くの生徒にとって、本コンクールが、日頃、教室で学んでいる設計を現実の施設に反映させる機会であり、勉学の励みとしていただけたものと大変喜ばしく思っております。

最優秀に選ばれた作品の提案主旨は、北海道において実施設計に採り入れ、道民に親しまれる施設となるよう建設を進めてまいりますので、今後もこのコンクールを通じ、公共建築に対する理解と関心をより一層高めていただければ幸いと存じます。

終わりに、本コンクールの実施に当たり多大な御協力を賜りました学校関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、御応募いただいた皆様方の今後の御活躍をお祈り申し上げます。

平成11年2月

北海道建設部参事監 遠藤 禎一

コンクールの概要

- 課題 「公園内の屋外トイレ」
- 設計条件 建設地 札幌市(北海道立真駒内公園内)
建設敷地 平坦地で、敷地の二辺が園路に接する角地
敷地面積は約230㎡
施設内容 鉄筋コンクリート造平屋建 1棟
延べ床面積は約70㎡
- 提出図面 JIS規格A2判1枚片面に下記の全ての図面を描く
・設計主旨・配置図(1/200)・平面図(1/100)
・断面図(1/100)・立面図(1/100)・スケッチ
・建築概要
- 応募資格 道内の工業高校の建築系学科に在籍する個人又は5名以下のグループ
- 応募状況 応募総数99点
- 審査経過 第1回選定委員会 平成10年5月15日
・募集要項を審議、決定
募集要項配付 平成10年5月22日
・各学校を通じ配付
作品受付 平成10年9月21日～25日
・各学校を通じ応募
第2回選定委員会 平成10年10月28日～29日
・最優秀作品賞1点、優秀作品賞3点、佳作4点、特別奨励賞5点を選出
- 審査委員
委員長 百島 秀二 (北海道建設部建築整備室建築課長)
委員 昆野 茂 (北海道教育庁生涯学習部高校教育課産業教育指導班指導主事)
" 大淵 康弘 (北海道環境生活部文化・青少年室参事)
" 若林 典之 (北海道都市施設事務所長)
" 石川 彰造 (北海道建設部公園下水道課長)
" 清野 亮一 (北海道建設部まちづくり推進室まちづくり企画課長)
" 片桐 久司 (北海道建設部建築指導課長)

審査のポイント

- 高校生らしいユニークさにあふれているか
- 完成度とは別に、十分に考えられた案であるか
- 設計の狙い(コンセプト)、デザインに魅力があるか
- 実現は難しくとも夢があるか
- 立地条件を活かしているか



高校生建築デザインコンクール
選定委員会委員長

北海道建設部建築整備室建築課長 百島 秀二

このコンクールも3回目を迎えることとなりました。

今回の課題は「公園内の屋外トイレ」で、道立真駒内公園内に建設が予定されているものです。

真駒内公園は、緑が失われつつある大都市に緑を大規模に導入し、緑を通じて人間性を復活する場として造成された森林公園で、近辺の人々の散歩やコミュニケーション、各学校の写生会、ハイキングやバードウォッチングなど、憩いとレクリエーションの場として、札幌市民はもとより道内外各地から多くの人々が来園しています。

ここに建設されるトイレは、公園を訪れる人にとって欠くことのできない施設であり、子供からお年寄りまで、また、障害のある人や赤ちゃんを連れた人など誰もが安心して快適に利用できる施設とすることが求められています。

道内の工業高校11校から前回と同数の99点もの多数の作品が寄せられました。これは、このコンクールが着実に定着してきたあらわれと、関係者の1人として大変喜ばしく思っています。

選定委員会は10月28日、29日の2日間で、①高校生らしいユニークさにあふれているか、②完成度とは別に、十分に考えられた案であるか、③設計の狙い(コンセプト)、デザインに魅力があるか、④実現は難しくとも夢があるか、⑤立地条件を活かしているかをポイントに、各委員が投票と意見交換を重ね、慎重かつ厳正に審査し、最優秀作品賞1点、優秀作品賞3点、佳作4点、特別奨励賞5点を選定しました。

最優秀作品賞の大瀧亮介君の作品は、大空を優雅にはばたく鳥をイメージした設計が、真駒内公園の自然に無理なく調和し、平面計画も男女トイレや休憩室をバランス良く配置している点などが高く評価されました。

羽をモチーフにした屋根は4枚で構成され、屋根と屋根との段差に天窗を設け外の光が差し込むよう、採光面での大胆な工夫がなされ、明るく清潔感あふれるトイレに仕上がっています。

また、障害者も安心して使えるようにスロープを設けるなど、使う人の側に立った設計となっています。

優秀作品賞の中野絵美さんの作品は、「木の切株」と7人のこびとをイメージしたメルヘンチックなデザインが印象的な作品です。休憩室には丸太の椅子とテーブルも配置され、くつろぎの場である公園にふさわしいデザインとなっています。この公園を訪れる人にやすらぎを与えてくれることでしょう。

優秀作品賞の石橋 彩さんの作品は、「二枚のイチヨウの葉」をモチーフにした扇形の建物で、公園の自然に溶け込むデザインとなっています。

休憩室は落ち着ける空間にするためトイレから独立させたり、多目的トイレは中央に配置し使う人の利便性を図ったり、機能的にも優れた完成度の高い作品です。

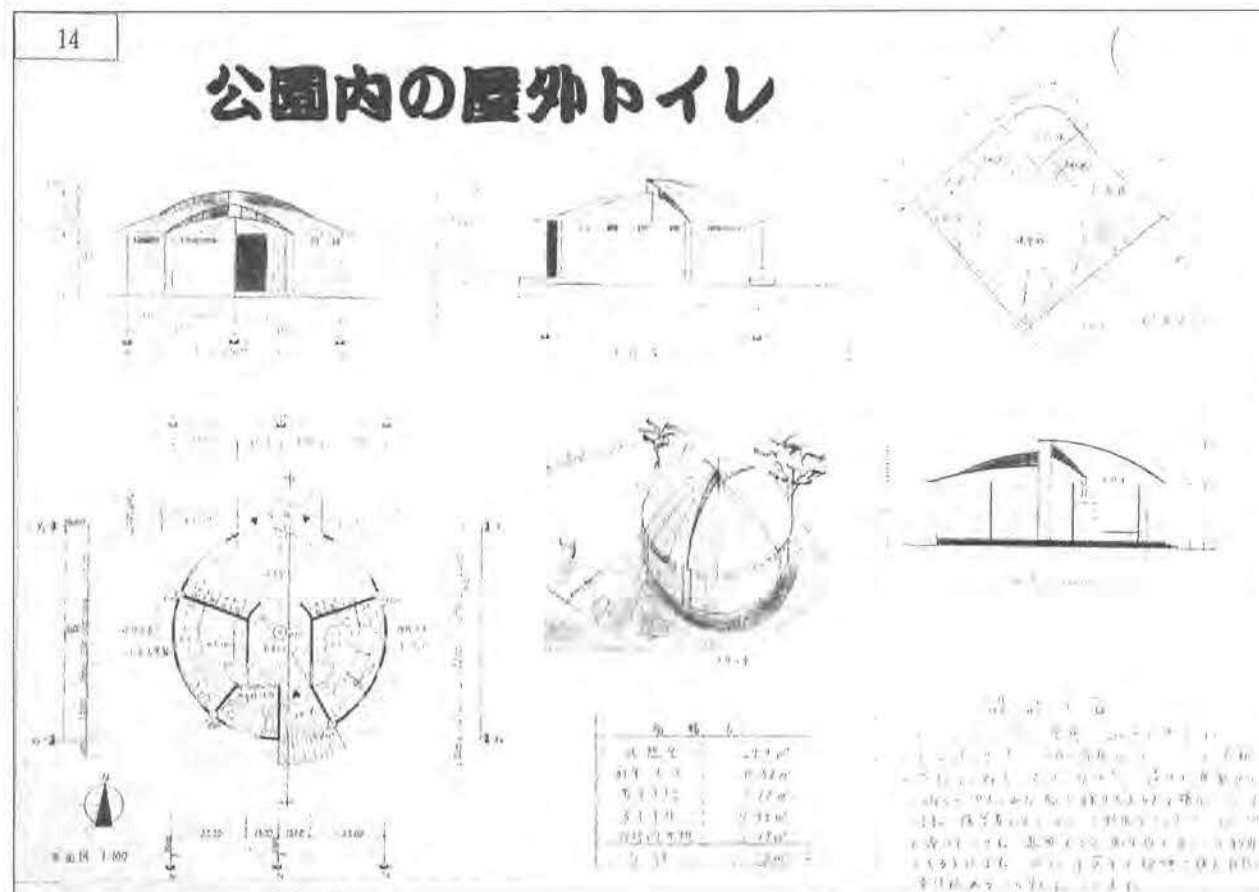
優秀作品賞の帰山幸城君の作品は、真駒内公園の自然に融合するよう、「大きな木の幹」を外観のデザインに採り入れ、壁に蔦を這わせたり、建物を芝生や土で覆うなど、随所に自然と一体化する配慮がされています。

また、上部に見晴らし台を設けるアイデアは、若者らしい斬新な発想で、四季折々の景色を見渡せる憩いの空間を造りだしています。

このほか、佳作や惜しくも入賞を逸した作品の中にも、個性あふれる素晴らしい作品が数多くあり、当初予定していた各賞のほか、選定委員会において特に努力や工夫が認められた作品5点に特別奨励賞を贈ることにしました。

全体として、真駒内公園の豊かな自然を意識して、「木」や「葉」、「きのこ」などの自然の素材や、「鳩」、「蝶」、「てんとう虫」などを平面の形状に採り入れた作品が数多く見受けられました。ただ、建物が建てられたとき、平面の形状は必ずしも利用する側からは見えないという意見が、選定委員から出されたことを付記しておきます。

また、サッカーボールやUFOをイメージした作品など、高校生らしいユニークな発想の力作も多く、建築を志す若者の熱意が感じられ、近い将来、北海道の建築デザインの水準が一層向上することが期待されます。



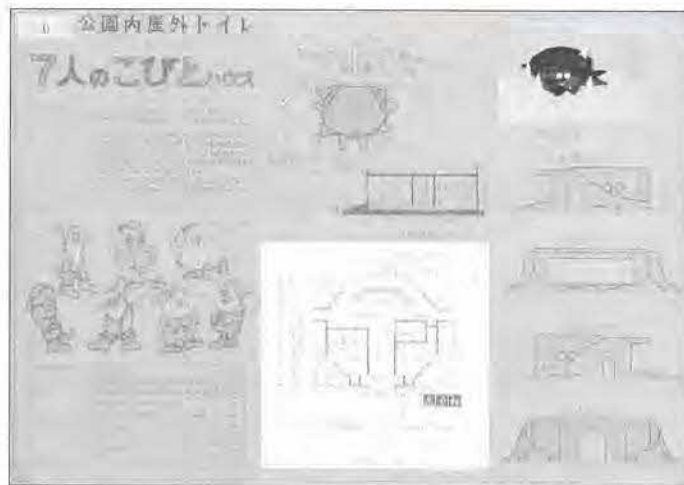
設計主旨

この作品は、大空を優雅にはばたく鳥をイメージして設計しました。4枚の屋根は羽をイメージし、屋根と屋根との段差には、大きな天窗を設けて南面からの明るくやわらかな光を採り入れられる構造になっています。

障害者の方も安心して利用できるようにスロープを設けています。通風もよく衛生的で安心して利用できるトイレです。周りには芝生や植物を植え、自然に溶け込めるつくりになっています。

大瀧 亮介
旭川工業高等学校 3年

優秀作品賞



設計主旨

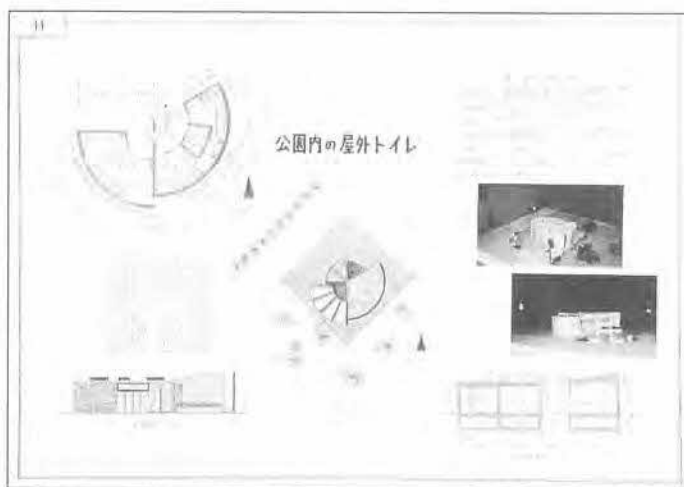
この建物は森林内の「木の切株」をイメージし、この切株の住人は「白雪姫」にでてくる7人のこびとです。

トイレは障害者やお年寄、子供づれのお母さんなども気軽に使えるようになっています。休憩室には自動販売機があり、ベンチと丸太をイメージした椅子とテーブルもあり、若者から家族づれまで幅広く休むことができます。特に、左右の階段から屋上の展望台に上がることができます。

自然に囲まれたこの公園を訪れた人達に、ほんのひとときのやすらぎを与えてくれるメルヘンチックな建物にしました。

中野 絵美

小樽工業高等学校 3年



設計主旨

人々が集まり、憩いの場となる自然公園、季節によって表情を変える景観の中にとけ込み、そして、明るく清潔感のあふれるトイレを計画した。

平面構成は、「二枚のイチヨウの葉」をモチーフに、扇形とした。休憩室は、落ち着ける空間にするため、扇の中心軸をずらして、トイレから独立させた。

ホールを中心に各室を配置することによって、ホールに広さを感じさせるとともに、建物に一体感を持たせた。

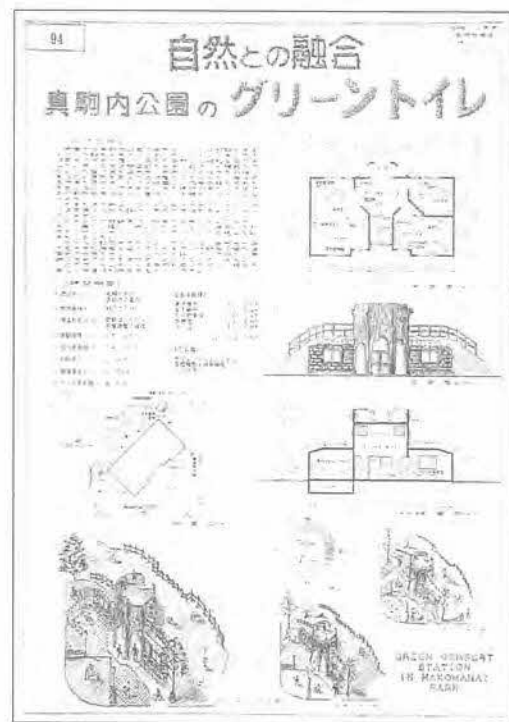
多目的トイレは中央に配置し利便をはかった。

設備の維持・管理をしやすくするため、S・Kを一つにまとめて面積を大きくし、さらに地下にピットを設けた。

以上が本設計のポイントである。

石橋 彩

札幌工業高等学校 3年



設計主旨

緑豊かな真駒内公園の自然と、トイレが融合するように外観をデザインしました。トイレの東・西側は芝生で完全に覆い周りの自然との調和を図りました。南・北側は開口部を大きく設け、札幌軟石で仕上げた壁に蔦を這わせ、自然との一体化を目指しました。建物を芝生や土で覆うことにより、春は芝生や蔦が芽吹き、秋には紅葉し、四季の移り変わりを感じることができます。また、建物の周りの芝生や土の断熱効果により、夏涼しく冬暖かいトイレとなります。

大きな木の幹は、出入口となっており、その上部には見晴らし台を設け、景色が見渡せるようになっています。

トイレの内部計画は、従来の公衆トイレの4K「汚い・臭い・暗い・怖い」から、4S「清潔・さわやか・サンシャイン・セーフティー」を目指した計画をしました。

ホール上部のガラスブロックからは、自然光が降りそそぎ利用者を迎えてくれます。休憩室は壁を道産材の板張りとし、小上がりを設けて、子供から高齢の方までくつろぎやすいようになっています。

このグリーントイレは自然を感じながら、誰もが楽しく快適に利用できるトイレです。

帰山 幸城

函館工業高等学校 3年

佳作



設計主旨

公園内のトイレ。それは「遠くからでもよく見える」トイレが一番理想ではないでしょうか。

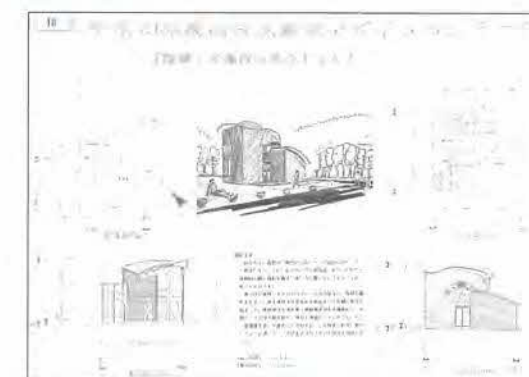
もちろんそれだけでなく、このトイレは公園内を見渡せる展望台であり、子供たちにとって遊び場になるトイレになるよう設計しました。

壁は、塔らしくなるように、札幌軟石を使用した壁になっています。また、南面には「光庭」と呼ばれる光のとりいれ口を設けたり、トップライトをホール上部に設けたりするなど、室内に光が入りやすくしています。

そのため、暗くなりがちで、照明に頼っていた従来のトイレよりも明るくなっています。

伊藤 修一

美唄工業高等学校 3年



設計主旨

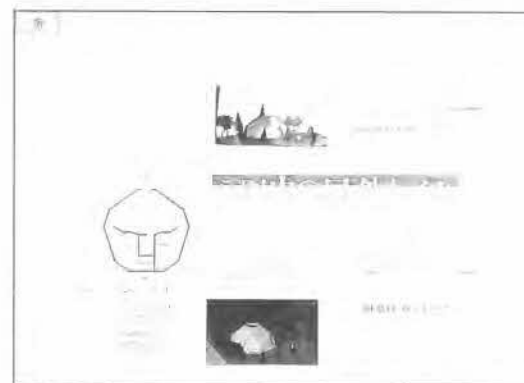
私たちは、真駒内公園内の公衆トイレの設計にあたって、「森林」をテーマにしました。その理由は、私たちの中で「真駒内公園＝疲れを癒す“森”の公園」というイメージがあったからです。

葉っぱの屋根、キノコのひさし、丸太の壁など、周囲と調和するよう、森を連想させるものを部品として外観に取り入れました。休憩室は天井を高く開放感を与える構造にし、玄関ホールには天窗を設け、明るく清潔なトイレにしました。散策路を歩いて疲れたときなどに、この緑あふれる“森のトイレ”に寄ってくつろげるようなトイレの設計を目指しました。

佐藤 亮士、中田 吉則、

佐藤 和幸、佐藤 仁泰

北見工業高等学校 3年



設計主旨

今、サッカーで日本が熱い!!

特に未来のワールドプレイヤーたる子供達の目が輝いている。ここ真駒内自然公園も多くの子供達がそれに親しんでいるのだ。そんな夢と期待をこめてサッカーボールのトイレを設計した。外観がサッカーボールの形は、多くのサッカーファンから親しまれると思う。そして、広くゆったりとしたくつろぎの空間がある内部にもサッカーの雰囲気をもし出している。

嶋貫 泰至

札幌工業高等学校 3年



設計主旨

私は、この建物が人々にとって憩いの場やふれあいの場になることを願い、テーマを「平和と調和のシンボル」＝「鳩」とし設計しました。

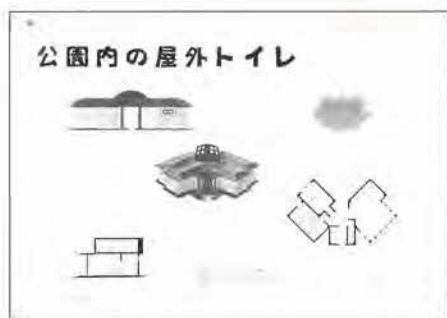
建物のデザインは、鳩が天空を翔くように見せるため、前方のひさし部分を嘴、後方の屋根軒先部分を3段にし翼としました。建物前方部及び後方部のエントランスは、緩やかなスロープを設けています。内部の空間については、トイレと休憩室を極力離すようにし、利用する人々に不快感を与えない配慮をしました。

真駒内公園の天空に鳩が飛んでいるように見えるこの建物を、多くの人々に利用して欲しいと思います。

芳賀 将

北見工業高等学校 3年

特別奨励賞

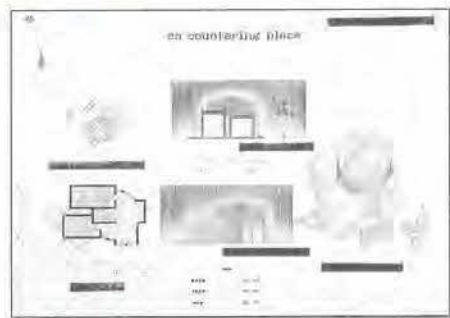


設計主旨

この建物で工夫したところは、形を左右対称にしたところと、自然公園の中にあるということで、ちょうちみみたいな形にしました。この建物で便利ところは、車イスの人がまっすぐ入口からトイレに行けることです。

福原 由比乃

釧路工業高等学校 2年



設計主旨

今回の公衆トイレの設計にあたり配慮した点は、トイレとしての機能だけでなく休憩所としての機能をもたせたことです。そのため、敷地全体の構成にも気を配り、屋根に柱と梁で組んだアプローチを設けました。また、建物に風・水・光を採り入れることを考え構成しました。ここに足を運んだ人達の交流の場になることを願い、新しいトイレを提案します。

島田 直樹

名寄工業高等学校 3年

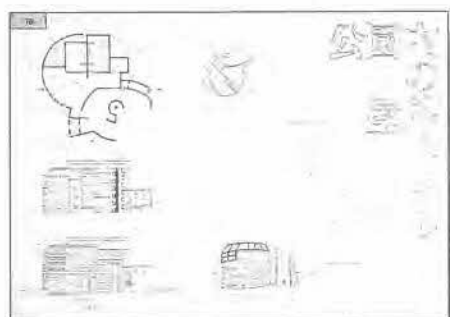


設計主旨

一般的にトイレは「汚い、臭い、暗い」というイメージがありますが、屋根の上につけたガラスばりの四角錐によって採光をより多く取り入れ、「暗い」イメージを少しでもやわらげればと思っています。又、休憩室に花壇をもうけ、その回りにイスを置いて、より自然と親しんでもらいたと思います。さらに、テーブルを三角形にすることにより、車イスの方にも使用していただけるように設計しました。

大澤 敦

室蘭工業高等学校 3年



設計主旨

このトイレの特徴は、休憩室と各トイレに設けた天窗、入口の前の広場です。広場には、水飲み台に隣接させたオブジェを置きました。全体的には天井を高くし開放感を得られるようにし、コンクリートの打ち放しで、自然の中で目立ち過ぎないようにしました。

石塚 雄一郎

苫小牧工業高等学校 3年



設計主旨

まずこのトイレの外観イメージを「自然に囲まれた大都市札幌」とおき、「自然に囲まれた建築物屋外トイレ(休憩所)」を設計しました。都市は人々が集まりにぎわう。この屋外トイレ(休憩所)も人々が休憩し、リラックスする同じような場所である。

入口は、だれもが出入しやすいように広めにしており、階段幅も長くスロープも設置しました。休憩所屋根部分は、6本の小さな塔と1本の赤鉄板(テレビ塔をイメージ)があり、札幌中心部を表している。室内から天井を見上げると、計7本の塔は、はめごろし窓になっており光が差し込む窓になっている。ベンチや壁などの色も緑を基調とし、落ちついた空間に設計してある。

男女多目的各トイレの室内は、広めにするために便器などを必要最低限の位置に配置しました。また、室内カラーも男子がベーシック系の落ちついたカラー、女子は黄色やオレンジ色などの女性っぽいカラーとしている。

鈴木 誠太

留萌千望高等学校 3年

平成10年度高校生建築デザインコンクール 応募者一覧

《札幌工業高等学校》(15作品 21名)

- 佐藤 和哉 (3年)
- 石川原 真也 (3年)
- 水口 和也 (3年) (3名グループ)
- 城島 悠實 (3年)
- 高橋 直樹 (3年)
- 石井 友子 (3年)
- 嶋貫 泰至 (3年)[佳作]
- 松岡 浩司 (3年)
- 八巻 修司 (3年) (2名グループ)
- 石橋 彩 (3年)[優秀作品賞]
- 川村 美奈子 (3年)
- 千田 大輔 (3年)
- 高橋 優 (3年) (2名グループ)
- 玉山 大介 (3年)
- 吉田 裕 (3年)
- 宮越 勝輝 (3年)
- 今川 貴博 (3年)
- 内田 大輔 (4年)
- 加嶋 亮介 (4年) (2名グループ)
- 早川 保 (4年)
- 高坂 寿行 (4年) (2名グループ)

《函館工業高等学校》(2作品 2名)

- 高島 瑞恵 (3年)
- 帰山 幸城 (3年)[優秀作品賞]

《小樽工業高等学校》(6作品 6名)

- 阿部 一二 (3年)
- 中野 絵美 (3年)[優秀作品賞]
- 神山 拓也 (3年)
- 平田 満 (3年)
- 木山 裕介 (3年)
- 谷野 聡美 (3年)

《美唄工業高等学校》(3作品 3名)

- 伊藤 修一 (3年)[佳作]
- 工藤 飛鳥 (3年)
- 橋本 陽平 (3年)

《旭川工業高等学校》(9作品 9名)

- 大瀧 亮介 (3年)[最優秀作品賞]
- 吉田 典洋 (3年)
- 横山 勝矢 (3年)
- 白土 太士 (3年)
- 中沢 託子 (3年)
- 山本 高司 (3年)
- 福島 文彦 (3年)
- 横井 孝祐 (3年)
- 赤松 純 (3年)

《名寄工業高等学校》(14作品 14名)

- 坂本 隼人 (3年)
- 馬淵 修 (3年)
- 山口 泰蔵 (3年)
- 西尾 奈津子 (3年)
- 吉田 圭太 (3年)
- 黒川 真一 (3年)
- 藤原 英晃 (3年)
- 島田 直樹 (3年)[特別奨励賞]
- 瀬田 大祐 (3年)
- 尾形 源 (3年)
- 伊林 毅 (3年)
- 宇野 成智 (3年)
- 金住 友則 (3年)
- 臼田 直也 (3年)

《留萌千望高等学校》(11作品 11名)

- 森本 肇 (3年)
- 村田 美樹 (3年)
- 秋庭 浩治 (3年)
- 竹内 貴修 (3年)
- 成田 美希 (3年)
- 後藤 太樹 (3年)
- 才郷 賢慈 (3年)
- 小関 啓一 (3年)
- 天野 貴夫 (3年)
- 澤田 幸恵 (3年)
- 鈴木 誠太 (3年)[特別奨励賞]

《北見工業高等学校》(6作品 19名)

- 山田 誠 (3年)
- 田村 博 (3年)
- 藤井 博貴 (3年)
- 行本 政和 (3年) (4名グループ)
- 佐藤 亮士 (3年)
- 中田 吉則 (3年)
- 佐藤 和幸 (3年)
- 佐藤 仁泰 (3年) (4名グループ)[佳作]
- 細川 修 (3年)
- 渡辺 淳 (3年)
- 有澤 智子 (3年)
- 小貫 絵美 (3年) (4名グループ)
- 宮永 育美 (3年)
- 津志田 稔 (3年)
- 中村 竜司 (3年)
- 佐々 喜美春 (3年)
- 可知 正博 (3年)
- 斎藤 健 (3年) (5名グループ)
- 芳賀 将 (3年)[佳作]

平成10年度高校生建築デザインコンクール応募者一覧

《室蘭工業高等学校》（7作品 7名）

- 山鹿 かずえ（2年）
- 三國 宏樹（3年）
- 木下 昌樹（3年）
- 大澤 敦（3年）……………[特別奨励賞]
- 関 博志（3年）
- 深瀬 直樹（3年）
- 中野 正行（3年）

《苫小牧工業高等学校》（4作品 4名）

- 齋藤 まどか（3年）
- 安元 年孝（3年）
- 小山内 香織（3年）
- 石塚 雄一郎（3年）……………[特別奨励賞]

《釧路工業高等学校》（22作品 22名）

- 小倉 一仁（2年）
- 小林 尚喜（2年）
- 木村 俊介（2年）
- 及川 晴久（2年）
- 新敷 政人（2年）
- 菊地 清仁（2年）
- 藤本 浩克（2年）
- 赤坂 祐也（2年）
- 福原 由比乃（2年）……………[特別奨励賞]
- 松尾 一清（2年）
- 房田 信也（2年）
- 岩本 弥生（2年）
- 木嶋 力穂（2年）
- 中村 訓（2年）
- 中道 大樹（2年）
- 吉崎 将宏（2年）
- 金子 亘弘（2年）
- 佐藤 司（2年）
- 澤谷 奈々（2年）
- 斉藤 創（2年）
- 芦崎 雄一（2年）
- 大石 博樹（2年）

計 99作品 118名

高 校 名	応募作品数	
札幌工業高等学校	建築科	13
	設備工業科	2
函館工業高等学校	建築科	1
	インテリア科	1
小樽工業高等学校		6
美唄工業高等学校		3
旭川工業高等学校		9
名寄工業高等学校		14
留萌千望高等学校		11
釧路工業高等学校		22
室蘭工業高等学校		7
苫小牧工業高等学校		4
北見工業高等学校		6
計		99

発行 北海道建設部建築整備室 計画調整課
 札幌市中央区北3条西7丁目
 TEL 011-231-4111 内線29-863
 印刷 株式会社 日栄舎

平成11年2月発行